

令和6年度前期 全国書道・ペン硬筆検定試験案内

指導者に実力を、塾長に権威を！ 4検定試験を一斉実施

試験概要

◆資格認定

第64回全国書道検定試験

第44回全国ペン硬筆検定試験

◆実力認定

第96回級位認定書道検定試験

第86回級位認定ペン硬筆検定試験

◆申込受付

2月13日(火)～5月2日(木)

◆師範 実施(会場) 試験

5月23日(木) 神田書学院にて

◆司教・助教・級位 通信(自宅) 試験

5月18日(土)～6月3日(月)

(消印有効)

◆受験資格

どなたでも受験可能です。

※資格認定試験(師範・司教・助教)は18歳以上。

◆趣旨

「指導者に実力を、塾長に権威を！」をモットーに、毎年2回(春・秋)、本会が実施している検定試験は、指導者育成のステップとして、これまでに実力のある合格者を輩出し、生涯学習の充実・普及に大きく貢献しています。

最も信頼されるのは、やはり「師範」の免許を持っている指導者です。しかし、師範の免許はすぐに取れるものはありません。まずは現在の自分の実力を測るため「全国書道・ペン硬筆級位認定試験」を受験してみましょう。現在の自分の実力が「初級・中級・上級」の3段階で判定され、上級ならば助教とほぼ同等の実力となります。

級位認定試験および助教・司教の検定試験は自宅での通信試験となります。参考書などを活用し解答することと自身が勉強となり、実力を養成できる試験となっています。

◆試験方法

●師範

会場試験となります。試験当日に会場試験となりますので、時間内にすべての課題に取り組んでいただきます。各試験時間は面接試験が約10分、理論試験が30分、実技試験が2時間半です。ただし、論文試験と履歴書は自宅での解答(記入)となります。受験日の1週間前前に解答用紙を送りますので、当日係員にお渡しください。

●司教・助教・級位

自宅での通信試験となります。受験期日までに試験問題・解答用紙をお送りします。参考書を使用しても構いません。試験期間内に答案を左記通信教育部までお送りください。(当日消印有効)

◆受験料

級位	書道	ペン硬筆
師範	二五、〇〇〇円	一四、五〇〇円
司教	一三、〇〇〇円	一〇、五〇〇円
助教	一〇、〇〇〇円	八、〇〇〇円
級位	四、〇〇〇円	三、五〇〇円

◆合否発表

答案を審査の上、合否は7月中旬に、個人宛に通知します。また、合格者は不二誌 一般版・中高版、ぺんの力の9月号で発表の予定です。

◆主催

公益財団法人日本書道教育学会

師範

〈書道〉

受験資格	司教合格者および同等の実力を有する者
試験内容	○書体(楷・行・草・隸・かな) ○古法帖の臨書 ○実用書式 ○自運(条幅・半紙) ○手本(小学校低学年向け) ○書論および書道史 ○面接(簡単な試験を行う) ○論文(二二〇〇字)

課題	領域	内容
一 漢字	楷書、行書	○楷書、行書、ひらがなを正しく美しく、高度な技能、深い内容・表現力をもって書くことができる。
二 かな	ひらがな (連綿変体仮名を含む)	○漢字かな交じり文を内容に応じて体裁よく、深い内容・表現力をもって書くことができる。
三 漢字かな交じり文	文章、手紙、文書などのタテ・ヨコ書き(ローマ字、カタカナ、アラビア数字、符号を含む)	○詩や文章などを自由な発想、書き方、構成で美的に表現する高度な技能をもっている。
四 実用文	文書、手紙、ハガキ、掲示物など	○客観的な見方で指導する力をもっている。
五 創作	漢詩、詩文、文章、和歌	○常用漢字表、常用漢字字体表、常用漢字音訓表についての知識をもっている。
六 作品添削	漢字かな交じり文(ローマ字、カタカナ、アラビア数字、符号を含む)	○旧字体、筆写体についての知識をもっている。 ○送りがな、現代かなづかい、符号などについての知識をもっている。
七 理論	国語表記法についての知識 旧字体、筆写体、筆順 歴史のかなづかい 書道史	○書道史における作品名、人名、時代などについて、一般的な知識をもっている。 ○文字についての知識をもっている。 ○面接 ○論文(二二〇〇字)

司教

〈書道〉

受験資格	三段以上または助教合格者、および同等の実力を有する者
試験内容	○書体(楷・行・草・かな) ○古法帖の臨書 ○実用書式 ○自運(条幅・半紙) ○手本(小学校高学年向け) ○書論および書道史 ○論文(八〇〇字)

課題	領域	内容
一 漢字	楷書、行書	○楷書、行書、ひらがなを正しく美しく、かなり深い内容・表現力をもって書くことができる。
二 かな	ひらがな(連綿・変体仮名を含む)	○漢字かな交じり文を体裁よく、かなり深い内容・表現力をもって書くことができる。
三 漢字かな交じり文	文章、手紙、文書などのタテ・ヨコ書き(ローマ字、カタカナ、アラビア数字、符号を含む)	○楷書、行書、草書、かなの古典を正しく、かなりその特徴を生かして書くことができる。
四 実用文	文書、手紙、ハガキ、掲示物など	○詩や文章などを自由な発想、書き方、構成でかなりの創作をすることができる。
五 創作	漢詩、詩文、文章、和歌	○客観的な見方で指導する力をもっている。
六 作品添削	漢字かな交じり文(ローマ字、カタカナ、アラビア数字、符号を含む)	○常用漢字表、常用漢字字体表、常用漢字音訓表についての知識をもっている。
七 理論	国語表記法についての知識 旧字体、筆写体、筆順 歴史のかなづかい 書道史	○旧字体、筆写体についての知識をもっている。 ○送りがな、現代かなづかい、符号などについての知識をもっている。 ○歴史のかなづかいについての知識をもっている。 ○論文(八〇〇字)

助教

〈書道〉

受験資格	試験内容
二段以上の者および同等の実力を有する者	<ul style="list-style-type: none"> ○書体（楷・行・草・かな） ○古法帖の臨書 ○自運（条幅・半紙） ○手本（中高生向け） ○書論および書道史

課題	領域	内容
一 漢字	楷書、行書	○楷書、行書、ひらがなを正しく美しく、ある程度深い内容・表現力をもって書くことができる。
二 かな	ひらがな (簡単な連続・変体仮名)	○漢字かな交じり文を体裁よく、ある程度深い内容・表現力をもって書くことができる。
三 漢字かな交じり文	文章、手紙、文書などのタテ・ヨコ書き (ローマ字、カタカナ、アラビア数字、符号を含む)	○楷書、行書、かなの古典を正しく、ある程度特徴を生かして書くことができる。
四 実用文	文書、手紙、ハガキ、揭示物など	○詩や文章などを自由な発想・書き方で構成である程度の創作をすることができる。
五 創作	漢詩、詩文、文章、和歌	○常用漢字表、常用漢字字体表、常用漢字音訓表についての知識をもっている。
六 理論	・国語表記法についての知識 ・旧字体、筆写体、筆順	○旧字体、筆写体についての知識をもっている。 ○送りかな、現代かなづかい、符号などについての知識をもっている。

級位

〈書道〉

課題	領域	内容
一 半紙漢字自運	楷書、行書	○楷書・行書を正しく、美しく書くことができる。
二 漢字かな交じり文	俳句	○楷書・行書・かなの古典を正しく、美しく臨書することができる。
三 半紙漢字臨書	楷書、行書	○漢字かな交じり文を半紙に体裁よく書くことができる。
四 半紙かな臨書	かな	○書道に関する用具・用材・用語について正しく、深い知識をもっている。
五 理論	・書道の用具・用材・用語についての知識 ・書道史の一般的知識	○書道史における人名、作品名、時代などの一般的知識や理解をもっている。

課題	領域	内容
一 漢字	楷書、行書	○楷書、行書、ひらがなを正しく書く技能をもち、字形を整えて美しく書くことができる。
二 かな	ひらがな（連続も含む）	○漢字かな交じり文を体裁よく書くことができる。
三 漢字かな交じり文	文章などのタテ・ヨコ書き（ローマ字、カタカナ、アラビア数字、符号）	○硬筆に関する用具・用材・用語について正しく広い知識と表現力をもっている。
四 実用文	文書、手紙、ハガキ、揭示物など	○楷書、行書、かなの古典を正しく臨書することができる。
五 理論	・硬筆の用具・用材・用語についての知識 ・国語表記法についての知識	○初歩的な創作ができる。 ○常用漢字表、常用漢字字体表、常用漢字音訓表についての知識をもっている。

…… 検定試験合格の特典 (後期は助教・級位試験のみとなります) ……

■書道師範

・不二誌一般版への編入試験料を免除し、漢字(半紙・条幅)、かな(半紙・条幅)、新和様(半紙・条幅)「四段」へ編入できる。

■ペン硬筆師範

・「ぺんの力」への編入試験料を免除し、基礎コース「四段」へ編入できる。

文部科学省認定通信教育事業を実施する本会が認定する師範免許は、指導者としての実力を裏付けるものとして、最も信頼されています。師範免許取得者の多くが全国各地で学校教育、生涯学習の一端を担って活躍中です。

■書道司教

・不二誌一般版への編入試験料を免除し、漢字(半紙・条幅)、かな(半紙・条幅)、新和様(半紙・条幅)「三段」へ編入できる。

■ペン硬筆司教

・「ぺんの力」への編入試験料を免除し、基礎コース「三段」へ編入できる。

■書道助教

・不二誌一般版への編入試験料を免除し、漢字(半紙・条幅)、かな(半紙・条幅)、新和様(半紙・条幅)「二段」へ編入できる。

■ペン硬筆助教

・「ぺんの力」への編入試験料を免除し、基礎コース「二段」へ編入できる。

■書道級位

不二誌一般版への編入試験料を免除し、漢字(半紙・条幅)、かな(半紙・条幅)、新和様(半紙・条幅)において上級は「初段」、中級は「2級」、初級は「4級」へ編入できる。

■ペン硬筆級位

「ぺんの力」への編入試験料を免除し、上級は基礎コース「初段」、中級は基礎コース「2級」、初級は基礎コース「4級」へ編入できる。

◆受験手続き

① 受験料のお支払い

受験願書とともに現金書留でお送りいただくか、郵便局でお振り込みください。振込先は下記のとおりです。

振込先 ゆうちょ銀行 口座番号：00120-2-48648
加入者名：(公財)日本書道教育学会通信教育部

② 受験願書ご提出

次頁の受験願書をご記入いただきましたら、通信教育部までお送りください。受付期間終了後、受験票を順次発送します。

③ 試験開始

試験開始の1週間程前になりましたら、試験問題と解答用紙をお送りしますので、締切日までに通信教育部へご返送ください。

◆要項の配布

どの試験を受けたらよいか迷っている方には、要項を配布しています。**角型3号以上の返信用封筒と切手(140円)を同封の上、下記通信教育部までご請求ください。**

過去問の請求方法 **1部：3,000円(平成30年度前期分)**

お振込の場合

通信欄に**氏名、送付先住所、電話番号(振込人と同一の場合は記入不要)、書道・ペン硬筆の別、受験種別(助教・級位)**を明記の上、下記振込先へお振り込みください。

〈振込先〉ゆうちょ銀行 口座番号：00120-2-48648 加入者名：(公財)日本書道教育学会通信教育部

現金書留の場合

氏名、送付先住所、電話番号、書道・ペン硬筆の別、受験種別(助教・級位)を明記した書類を同封の上、現金書留で下記までお送りください。

受験願書の請求・お問合せ先

〒101-8358 東京都千代田区西神田 2-2-3

(公財)日本書道教育学会通信教育部 書道検定試験係 またはペン硬筆検定試験係

TEL：03(3234)3961 FAX：03(3234)3548

第64回全国書道検定試験 受験票 第44回全国ペン硬筆	
受験番号	※
受験会場	※ 神田書学院
氏名	(ふりがな) (男・女) 年齢 歳
住所	〒 - (様方) (電話) - -
受験種別	(いずれかに○をつけること) (師範受験者) 書道 ペン 写真 (上半身正面ごく最近のものをのりつけのこと 写真裏面に氏名を記入のこと)

第64回全国書道検定試験 受験票控 第44回全国ペン硬筆	
受験番号	※
受験会場	※ 神田書学院
氏名	(ふりがな) (男・女) 年齢 歳
住所	〒 - (様方) (電話) - -
受験種別	(いずれかに○をつけること) (師範受験者) 書道 ペン 写真 (上半身正面ごく最近のものをのりつけのこと 写真裏面に氏名を記入のこと)

受験番号	※	第44回全国書道検定試験 第64回全国ペン硬筆	受験願書(師範用)
受験会場	※ 神田書学院		
受験種別	(ふりがな) (氏名) 〒 - (住所) (電話)		
書道師範	大・昭・平 年 月 日 ④ 男 女 (様方)		
ペン師範		※ 判定	合 否
公益財団法人 日本書道教育学会			

※欄には記入しないこと。受験種別欄はいずれかに○をつけること。

受験票	司教 助教	第64回全国書道検定試験 第44回全国ペン硬筆 (前期)
	級位 認定	第96回書道級位認定試験 第86回ペン硬筆級位認定試験
	受験番号	※
住所	〒 - (様方) (電話) - -	(切り取らぬこと)
氏名	(ふりがな) (男・女) 年齢 歳	
受験種別	一、 ※欄には記入しないこと。 二、 受験種別欄はいずれかに○をつけること。 三、 願書と受験票を切り離さないこと。 四、 答案用紙には受験番号を必ず明記し、氏名は書かないこと。 五、 ペンと書道検定試験は同時に受験することができる。 六、 合否通知は7月中に文書をもって連絡する。	
書道	ペン	
司教		
助教		
級位		

受験番号	※	第86回ペン硬筆級位認定試験 第96回書道級位認定試験 第44回全国ペン硬筆 第64回全国書道検定試験(前期)	受験願書(司教・助教・級位用)
住所	〒 - (様方) (電話) - -		
氏名	(ふりがな) (男・女) 年齢 歳		
受験種別	書道司教 書道助教 書道級位 ペン司教 ペン助教 ペン級位		
※ 判定			合 否
公益財団法人 日本書道教育学会			